

講義コード	1P68007008
講義名称	情報リテラシー 2 <秋>
科目英文名	Information Literacy 2
開講責任部署	人間教育学部 人間教育学科
代表ナンバリングコード	000BA113
単位数	1.0
時間割	秋学期: 月曜日 2 時限
講義開講時期	秋学期

担当教員

氏名	オフィスアワー	メールアドレス	研究室
◎ 木村 明憲	春学期：月曜日昼休み 火曜日 2 限 木曜日 2 限 秋学期：月曜日昼休み、3 限 火曜日 2 限 水曜日昼休み		聖アンデレ館5階519号室

授業形態	実務経験のある教員による授業① 学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、ICTを活用して指導を行う。	演習
------	---	----

アクティブラーニングの詳細	※受講人数により表記のとおり実施できない場合があります。		
	ディスカッション(話し合い)	プレゼンテーション(発表)	ディベート(討論、討議)
	課題解決		

到達目標	(1) 実習を通じて、コンピュータやソフトを効果的に活用することができる。 (2) コンピュータを活用して、主体的に情報を収集し、整理・分析し表現することができる。 (3) 収集した情報をもとに新たな価値を創造し、適切に発信・共有することができる。
授業概要	一人一台のコンピュータを使用して、実習形式でさまざまな操作技術の習得をしていく。それと同時に、操作の仕組みや背景を理解するといった総合的な情報リテラシーの獲得を目指す。また、目的に応じて適切なアプリケーションを選択し、効果的に活用することができるようになる。
授業計画	第1回 データ活用：桃山学院大学のアピール動画を作成するに大学についてのデータを、アンケートを実施して収集する。 第2回 データ活用：在学生に大学についてアンケートを実施するために質問項目を考える、 第3回 データ活用：アンケートを確認し、調査を実施する。 第4回 データ活用：収集したデータを整理し分析する。 第5回 データ活用：アンケートの分析結果を基に、大学の改善レポートを書く。 第6回 データ活用：執筆したレポートを共有し、評価し合う。 第7回 学校現場等で役立つ教材作成：今、学校現場で求められる教材とは。 第8回 学校現場等で役立つ教材作成：学校で扱われるデータとは。 第9回 動画編集ソフトを活用した動画づくり：桃山学院大学のアピール動画を作成するに当たりアピール動画の作成について調べる。 第10回 動画編集ソフトを活用した動画づくり：著作権、肖像権、個人情報の取り扱い。 第11回 動画編集ソフトを活用した動画づくり：アピール動画作成のための情報を収集する。 第12回 動画編集ソフトを活用した動画づくり：アピール動画を編集する。 第13回 動画編集ソフトを活用した動画づくり：アピール動画を編集する。 第14回 動画編集ソフトを活用した動画づくり：アピール動画を完成させる。 第15回 動画編集ソフトを活用した動画づくり：アピール動画を共有し、視聴し合う。
授業外学習	授業内に終わらない際は授業外で課題を解決する。
教科書	授業中に適宜紹介する。
参考書	授業中に適宜紹介する。
評価方法	授業で作成した作品及びレポート 6 0 %，授業の参加度と授業態度 4 0 % の割合で評価する。
既修条件	なし